

山岡光広・岡田重美・小西喜代次議員が一般質問

発言順

山岡光広議員



◆学校図書活動の推進、◆市職員の「現職死」をなくし健康で働きやすい職場環境を、◆JR簡易委託駅その後、◆アクセル制御システム設置に補助を、◆子どもたちの通学路の安全対策について

問 学校図書活動推進に欠かせないのが学校司書。今年度から5名に減員。7名に復活すべき。

教育部長 学校司書は大きな役割を果たしている。学校司書と意見交換を重ね、来年度にむけて検討を進めてまいりたい。

問 市職員の「現職死」が合併以降9名、うち死因癌が6名。健康で働きやすい職場をつくるために、標準健診に「癌のリスク検診」を加えよ。

総務部長 現在は希望者による個人負担になっている。委託先の県共済組合に働きかけるとともに、市として必要な独自施策について検討する考え。

問 高齢者による交通事故が多い。事故防止のためにアクセル制御システム設置に対して市補助制度を創設できないか。

市長 東京都をはじめいくつかの自治体で制度化されているが県内ではない。自動車メーカーの普及状況をみながら、検討していきたい。

問 子どもの通園・通学の安全を図ることとは急務。例えば甲南野尻交差点の待避場所の確保、甲南プラ前に歩道の設置を。

教育委員会事務局理事 野尻交差点については交差点内の外側線を引き直しグリーンベルトの設置を検討。プラ前は、継続的に関係機関と対応を協議していく。

岡田重美議員



◆誰もが自分らしく生きられる社会へ、ジェンダー平等について、◆青土ダムエコーバレーの施設整備について、◆旧東海道の街並み保全について、◆より便利なコミバス・コミタク運行について

問 ジェンダー平等は、女性だけでなく、男性もLGBTなど多様な性も含むすべての人の問題。誰もがひとりの人間として尊重される社会の実現が求められる。ジェンダー平等に対する市長の認識は。

市長 全ての市民の人権が等しく尊重され、誰もが自分らしく生きられる社会の実現が大変重要であると認識している。

問 青土ダムエコーバレー内ブルーリパーバーク駐車場に洋式トイレの整備を。ブルーシャトー2階への階段に安全のため手すり設置を。

建設部長 洋式トイレへの改修は必要。計画的に実施したい。手すり設置は指定管理者と協議する。

問 土山宿・水口宿は歴史的な財産。旧東海道の街並み保全に関する市の考えは。

教育部長 必要な調査を実施した上で、所有者や地域の方々の保全に向けた取り組みを支援していく。

問 甲賀・甲南地域からの甲賀病院直行バスの周知・改善を。10月より土山でコミタクが開始される、今後大野ルートでのコミタク運行の考えは。利用の多い主要なバス停に屋根、ベンチの設置を。

建設部長 直行バスの周知・改善をはかる。コミタクルート拡大は状況を見て検討。バス停の屋根・ベンチも検討していく。

小西喜代次議員



◆市立医療機関・老健施設での無料定額診療事業の実施、◆大戸川ダムは中止し、ダムに頼らない治水対策を最優先すること、◆甲賀病院の休床病棟の早期再開、◆雲井小のプールの修繕補修

問 無料低額療養事業は、お金、保険証がなくても医療機関につながるための制度。市立医療機関・老健施設での実施を。

健康福祉部長 市立施設において、無料低額診療事業の実施は考えていない。

問 8月29日国交省に、大戸川ダムの建設中止を求め直接交渉を行った。大戸川ダムは中止し、ダムに頼らない治水対策を最優先し、大戸川の黄瀬地域の狭幹部の早期改修、浚渫など、必要な河川整備はダムと切り離して要望すべきではないか。

市長 国の検証や県の勉強会において、一定の治水効果があるとされている。ダムを起点とした河川改修により早期整備が図れることから、ダム建設は必要と考えている。

問 公立甲賀病院の病棟48床が、看護師退職のため5月1日から休床している。早期再開を。

市長 地方独立行政法人化で、法人に経営の裁量があり、また、患者の受け入れに支障がないことから、市として特段の対応は考えていない。

問 市内学校の今後の改修計画と雲井小学校のプール等の修繕補修を求めめる。

教育委員会事務局理事 小中学校施設長寿命化計画の見直しを進める。駐車場出入口は検討する。



日本共産党滋賀県地方議員団

日本共産党甲賀市議員団は8月29日東京し、今年も切実な願い実現へ政府と直接交渉しました。今回は4省17項目。甲賀市関係では、大戸川ダム、新名神甲南PAとICとの接続、JR簡易委託駅などを取り上げました。

今年も政府と直接交渉

新名神甲南PAとICとの接続では、国交省から「連結変更申請はしない」との回答がありました。今後は事業主体である県が実施するかどうか、にかかっています。